

校長室で仕事をしていると、2年生の男の子が元気よく校長室に入ってきた。手には、緑色のカードを持っている。そうか！いよいよ始まったのか！▼2年生はこの時期から「九九」を覚え始める。「上り九九」「上がり九九」「バラバラ九九」3つのパターンで九九を覚える。手に持っている緑のカードは、その成果を記録するためのもの。先生に聞いてもらって合格したらサインとシールがもらえる▼担任だけでは聞ききれないので、毎年そのお手伝いをさせてもらっている。もう一つの楽しみがある。校長室へ来てくれる子とじっくり向き合えることである。九九を聞かせてもらうだけでなく、ちょっとしたお話もできたりする▼なによりもその時の表情が素敵なのである。一生懸命九九を唱えようとしているその時の表情は生き生きと輝いている。残念ながら詰まってしまった時の悲しくて悔しそうな表情は、再挑戦への意欲の始まり▼われわれ教師は、子どもができなかったこと失敗したことを責めたりはしない。できないことを何かのせいにしたたり、失敗を怖がって挑戦しなかったりすることを許さない。できないことを知ることや失敗する経験をさせ、何度も挑戦しようとする心の強い子を育てたい▼九九に取り組もうとしている子どもはやる気満々。失敗させながらも子どもの意欲をいかに持続させるか。大人の腕の見せ所である。めざせ九九名人！